

世界の街を見て 私たちの街を見る

第3回



韓国 「ソウルに見る現代都市づくり」

2016年
7月9日 (土) 14:00-16:30

みらい平コミュニティセンター 研修室 1
つくばみらい市紫峰ヶ丘 4-4-1 TEL : 0297-38-7240

■スライドトーク

樋口日出子 (アーバンアートアーカイブス)

■セッショントーク

樋口正一郎 (都市景観研究家・造形家)

柳井哲也 (牛久市文化財保護審議会会長)

野口修 (みらいの環境とエネルギーを考える会)

資料代 500 円

主催：アーバンアートアーカイブス
問合せ先：uaa-higuchish@kyf.biglobe.ne.jp
TEL : 090-1451-9339
URL : <http://www.uaa-higuchi.jp/>

隣国、韓国が「世界デザイン都市」戦略で世界の耳目を集めていることはあまり知られていない。

今回は、韓国民5100万人のうちの約1/5の人々が集中し、GDPの 1/5を創出しているソウル特別市と隣接する仁川広域市に誕生した、韓国版シリコンバレーの異名も持つ松島新都市の「都市の演出方法」を見る。

ソウルは、1970年代、清溪川を覆って造った、韓国経済の大動脈の一つの清溪高架道路をとり除き、以前の清らかな水の流れる景観を復元した(2004年)。

その成功により、ソウルは世界にデザイン都市宣言をすることとなった。東西に流れる漢江流域のルネサンスプロジェクトや、新興の江南地域も脚光を浴びている。また、仁川国際空港から車で15分の地に、北東アジアの物流のハブを目指して出現した松島新都市にも目を見張るものがある。